

昭和十八年三月二十五日

印 刷 納 本

禁 轉 載

昭和十八年四月一日（毎月同一日發行）

道路の改良

第二十五卷
第四號

法人團
道 路 改 良 會

移 轉 御 通 知

謹啓彌御清祥之段奉慶賀候

陳者弊社儀今般本社並に東京出張所を左記へ移轉仕候に就ては何卒倍舊の御眷顧を賜はり度此段御通知旁御挨拶申上候

昭和十八年二月

敬 具

東京市淺草區花川戸一丁目一番地
(地下鐵淺草終點松屋百貨店七階)

日本鋪道株式會社

取締役社長 淺利三朗

電話淺草(84)

(代表)

八二二四一
八二四四二
三番番

飛行場鋪裝 道路鋪裝

加熱式アスファルト

アスファルト乳剤

セメントコンクリート

アスファルト乳剤製造



東京瀝材工業株式會社

本社 東京市日本橋區吳服橋一丁目三番地

(三和ビル)

二六六六番
電話(日本橋) 五五一—番

東京工場 東京市江戸川區長島町五七〇五番地

電話(葛西) 〇〇四〇番

鶴見工場 横濱市鶴見區市場町七七四番地

道路の改良 第二十五卷第四号 目次 昭和十八年四月一日發行

卷頭言

論 説

立體的道路に關する若干の考察

明治大學教授 麻生平八郎(三)

研 究

土木建築請負統制會私案

中川幸太郎(八)

獨逸道路交通法路面軌道建設及運轉二關スル法律(一)

多田基(三)

阿弗利加の歴史産業交通の概況

H T 生(三)

資 料

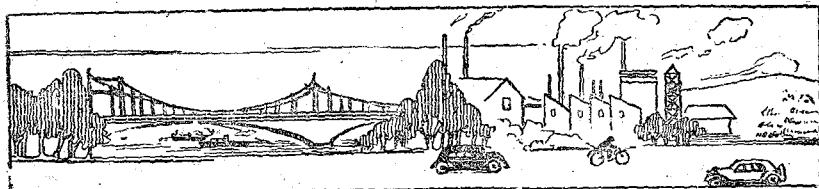
曲げモーメントを受ける鐵筋コンクリート矩形梁の斷面算定係數表

日本大學工學部助教授 小野竹之助(翌)

說 范

道路改良會首腦部と道路問題の推移—常務理事佐上信一氏(下)— ブレンネル峠の今昔

清 水 生(三)
長谷川久一(翌)



昭和十八年

道路の改良

四月一日

卷五十二第
四 第

言頭卷

昭和十八年度の國の總豫算が公布せられた、就いて見るに軍事費を除きて其の額は實に百三十二億七千五百拾五萬圓である、其の内內務省に屬する國道改良費千七百七十六萬六千餘圓、土木事業道路助成費四百五十三萬餘圓で合計二千二百二十九萬五千餘圓である。第八、十一回帝國議會に於て政府委員は「昭和十年度以降は國土計畫本來の見地に立返つて國直營で施行するやうになり其の豫算は漸増し十八年度は二千三百三十一萬圓となつてゐる、從來は繼續臺業丈を國直營で行ひ、單年度事業は府縣でやることとなつて居り府縣道改修は毎年單年度豫算として國が補助して居たが道路改修の計畫性から見て從來の補助の他重要府縣道には繼續補助をすることになつて居る」と説明したが果して道路費は豫算額で充分であらうか。

衆議院に於ける本年三月六日の決議を見るに廣く人材を登用し、國民の創意熱情を旺んにし、以て生産擴充の障礙たる、あらゆる原因は斷乎之を除去して速かに戰力の飛躍的増強を期すべしとある、乃ち戰力増強の爲にする生産擴充に障礙となるべき總ての事柄は之を除去せねばならないのである。實に國民の心を融合伸展せしめ進んで各種の資源を開發し、交通運輸を整備し、物資の交流を圓滑にし、生產力の擴大に猛進して軍事的にも經濟的にも大東亜共榮圏の確立を構成せざるべからざるの秋である。

今道路の狀態を見るに政府當局は國道府縣道に就いては物動計畫と睨み合せて着々努力せられて居る即ち國道及重要府縣道に對しては改良整備が施行せられ尙進んで國道建設並に道路交通の調査を行ひ一段とその改良整備を強化せんと企圖せられてゐる、是實に吾人の意を強うする所以である。

戰爭は新らしき道路を生み又道路は戰爭の勝敗を決するのであつて戰爭と道路とは不可分の關係に在るものである、從つて吾人が更らに痛切に感ぜらるは市道町村道の改良整備である、蓋し府縣道は概して市街地と市街地とを連結せしむる處に重點を置き認定せられるにあらずやと思ふのである。然るに時勢の變遷推移、戰時下りは重要生産地、工場、港灣に直接關係を有する道路が如何に重要であるか、其處に生産地よりの生産物の輸送、工場よりの工業製品の輸送、港灣よりの貨物の運搬配給等に關して國道府縣道のみを以て其の使命を達成して居るか是の關係は市道町村道に待つ處少なからざるを見るのである。實に是等の關係に於ては市道町村道は重要な役割を負擔するものなるを考量せざるを得ない、即ち此等重要市道町村道の改良整備は一日を緩すべからざるものと謂はざるを得ない、生産擴充の上に障碍となる原因として亦市道町村道の不完全なる設備は之を敷ふることが道路の現狀に照らし言はれ得る所であらう。吾曹は政府當局に對して重要な市道町村道に對し其の不完備に鑑み如何にして之を改良整備を施こし得らるべきか一考せられんことを切望する所である。(挑民)